

このシリーズでは、「ふるさと日立大使」をお一人ずつクローズアップしてご紹介します。

シンガーソングライター KATSUMIさん



子どもたちには

夢を持ち続けて

キラキラして

いてほしい。

今回の「ふるさと日立大使 Interview」シリーズにご登場いただくのは、シンガーソングライターのKATSUMIさん。
今年音楽活動35周年という節目を迎えるKATSUMIさんに、歌手になられたきっかけなどを伺ったほか、日立市子どもたちへのメッセージをいただきました。

か っ み KATSUMI	
日立市出身。助川小学校・助川中学校卒業	
1990年	アルバム『SHINING』、シングル「Shining in the Night」でデビュー。以降、「危険な女神」「It's my JAL」など続けてCMタイアップ曲をリリース
1994年	5thアルバム『SUPER BALANCE』がオリコンチャートで1位を獲得
2001年	『ウルトラマンコスモス』の主題歌を提供
2010年～	FM ひとたちのパーソナリティとして活動を開始
2024年	16年ぶりのオリジナル・フルアルバム『water.』をリリース

背筋に「電流」が走った友達のお兄さんのエレキギター演奏

「どのようなきっかけで、歌手になられたのですか？」

小さい頃、アイドル歌手が出ている音楽番組をよく見ていて、幼いながらに自分も人前で歌ってみたいなど思っていたんです。また、4つ上の姉がレコードでビートルズやクイーン、日本のフォーク音楽などを聴いていて、それを僕も小学生の頃から一緒に聴いていたので、影響を受けていたんだと思います。

中でも一番覚えているのが、小学6年生のときに助川中学校の文化祭に行ったときです。友達のお兄さんがステージの上でエレキギターを持って「ガシャーン！」って弾いた時、背筋に本当に電流が走ったような衝撃を受けたんです！

それまでもテレビの世界に憧れはありましたが、やはり生の演奏は全くの別物で、その時に受けた衝撃が、今でも忘れられないです。

「歌手になりたい」という憧れから「歌手になる」という夢に向かって歩み始めるきっかけになった出来事だったと思っています。

「シンガーソングライターには、いろいろなタイプの方がいらっしゃると思いますが、僕は元々ロックが好きだったので、楽しい曲であつても、自分が生きてきた中にある考えや想いを、メッセーjとして歌に込めて、みなさんに伝えられたらと思っています。」

昨年、16年ぶりにオリジナル・フルアルバム『water.』をリリースしたのですが、その作品は、作詞・作曲・編曲・演奏・録音とほぼ全てを自分一人で行い、「これからの日々において、僕の曲が誰かの支えになればいいな」という想いを込めて作りました。

「日立市を題材に作詞・作曲した作品はありますか？」

あまり、固有名詞は出さないのですが、地元日立市からインスピレーションを得て作った曲もあります。

ある映画のエンディング曲として作った『Sakura Sakura』という曲は、母校である助川小学校の校庭にある「五代桜」をイメージしたものです。「その桜はずっと僕たちを見守ってくれているよ。きっとこれからもあの桜は僕たちを見守ってくれ



ツアーライブやイベントなどで活躍中の KATSUMI さん

流れでも成り行きでもなく、やりたいことをやってきた

その後、中学1年生ぐらいのときに、叔父からクラシックギターを借りたことがきっかけで、アマチュアバンドを組んで市民会館などでライブを行うようになりましした。

今思えば、その頃には「歌手になろう」と自分の中で決めていたんだと思いますが、当時は、周りの人に「歌手になるんだ」「東京に行くんだ」みたいなことを言いふらすほど度胸があつたわけではありませんでした。

初めて母親に自分の夢を伝えたのは、高校3年生の進路相談です。そのときは、母親もこの子はそういうことをやりたいって言いだすんじゃないかとそんなに思っていたらしいです。



本当に今思い返すと、やりたいうことをずっとやり続けていて、気が付いたら仕事になっていったんだなと思います。東京に行きたいという憧れや周囲に流されたり、成り行きではなく、やっぱり自分がやりたいことをやり続けた結果、今の自分があるんだと思います。

自分の想い・メッセーjを曲に込めて

「ご自身の作品を含め、多くのアーティストに楽曲の提供を行っているKATSUMIさん。どのように作曲りをされているんですか？」

作曲りに当たって大切なことは、いろいろなことやものに興味を持つこと、「アンテナを立てる」ことだと思っています。

特に最近では、些細なことでも表現のネタにつながるんじゃないかと、街並みや道行く人を観察しながら歩いたり、芸術作品を見たりして、表現の引き出しを増やしたいと思っています。街を歩いているときの空気感からインスピレーションを得ることも多いですね。

今まで聞いてきた音楽や経験などに影響されて作曲りをすることもありましす。

シンガーソングライターには、いろいろなタイプの方がいらっしゃると思いますが、僕は元々ロックが好きだったので、楽しい曲であつても、自分が生きてきた中にある考えや想いを、メッセーjとして歌に込めて、みなさんに伝えられたらと思っています。」

昨年、16年ぶりにオリジナル・フルアルバム『water.』をリリースしたのですが、その作品は、作詞・作曲・編曲・演奏・録音とほぼ全てを自分一人で行い、「これからの日々において、僕の曲が誰かの支えになればいいな」という想いを込めて作りました。

「日立市を題材に作詞・作曲した作品はありますか？」

あまり、固有名詞は出さないのですが、地元日立市からインスピレーションを得て作った曲もあります。

ある映画のエンディング曲として作った『Sakura Sakura』という曲は、母校である助川小学校の校庭にある「五代桜」をイメージしたものです。「その桜はずっと僕たちを見守ってくれているよ。きっとこれからもあの桜は僕たちを見守ってくれ

4月1日から

公共施設の休館日や開館時間が変わります

令和7年4月1日(火)から、一部の公共施設の休館日や開館時間が表のとおり変わります。詳しくは、市HP(右記QR)をご覧ください。各施設担当課にお問い合わせください。



施設名	令和7年4月1日から		問合せ
	休館日	開館時間	
吉田正音楽記念館	■ 毎週月曜日 * 祝日の場合は翌日 ■ 12月31日、1月1日	■ 10:00 ~ 18:00	文化・国際課 ☎ 内線 510
消費生活センター	■ 毎週土・日曜日、祝日 ■ 12月29日~1月3日	■ 9:00 ~ 16:00	消費生活センター ☎ 26-0069
保健センター(貸館)	■ 毎週土・日曜日、祝日 ■ 12月28日~1月4日	■ 9:00 ~ 21:00	保健センター ☎ 21-3300
子どもセンター	■ 毎週月曜日、祝日 ■ 12月29日~1月3日	■ 9:00 ~ 17:00 * ふれあい広場・園庭は16:00まで	子どもセンター ☎ 36-0048
かみね動物園	■ 毎週月曜日 * 祝日の場合は翌日 * 春休み、4月、5月、夏休みは無休 ■ 12月31日、1月1日	■ 夏季(3月~10月) 9:00 ~ 16:30 * 入園は15:45まで ■ 冬季(11月~2月) 9:00 ~ 16:00 * 入園は15:15まで	かみね動物園 ☎ 22-5586
記念図書館	■ 毎週月曜日 * 祝日の場合は翌日 ■ 12月28日~1月4日	■ 9:00 ~ 18:00	記念図書館 ☎ 24-7714
南部図書館	■ 毎週火曜日 * 祝日の場合は翌日 ■ 12月28日~1月4日		南部図書館 ☎ 29-1125
多賀図書館	■ 毎週水曜日 * 祝日の場合は翌日 ■ 12月28日~1月4日		多賀図書館 ☎ 33-2655
十王図書館	■ 毎週木曜日 * 祝日の場合は翌日 ■ 12月28日~1月4日		十王図書館 ☎ 20-2345
視聴覚センター	■ 毎週月曜日 * 祝日の場合は翌日 ■ 12月28日~1月4日	■ 9:00 ~ 18:00	記念図書館 ☎ 24-7714

お客さんの笑顔と応援に感動

「歌手になってよかったと感じるのはどんな時ですか？」

やっぱりライブに来てくれるみなさんの笑顔ですね。デビューして2年目の頃、ある航空会社のCMソングが大ヒットとなったのですが、ライブに来てくれたみなさんが紙飛行機を飛ばして盛り上がってくれたんです。今もライブの時に紙飛行機が続いているのですが、本当に毎回感動するんです。

若い頃は、本当にエゴの塊のような部分もあったかもしれないが(笑)、お客様がいてこそ、シンガーソングライター・KATSUMIが存在し、みなさんの応援のおかげで自分も頑張れるし、みなさんのリアクションがモチベーションにつながっていると思います。

子どもたちだけでなく、先生や保護者の方にも癒しを

「最近地元では、どんな活動をされているのですか？」

実は、北茨城や勝田の特別支援学校でクリスマスコンサートを開催しました。

きっかけはどちらの学校も僕の同級生が校長先生で、彼は子

どもたちにはのびのびと明るく夢を持ってほしいという考えがあって、「ドリーム」というタイトルのコンサート企画を考えていたそうなんです。

コンサート開催に当たっては、もちろん子どもたちに喜んでもらいたいという想いが一番でしたが、教育の現場でいろんな苦労があるであろう先生方と保護者の皆さんにも、いつも通っている学校が会場という安心感の中で、音楽を通して「癒し」を届けられたらという想いもありました。

当日は、子どもたちのパワーに圧倒されました。歌を通して勇気を持って生きていこうという気持ちも伝わっていただければうれしいですね。



歌で子どもたちの夢を後押ししたい

近い将来、ぜひ日立でも子どもたちに向けたコンサートを実現させたいと思っています。生の音楽に触れる体験を通して、音楽の素晴らしさを知ってほしいですね。

音楽活動35周年・特別な一年にしたい

「今後の活動の目標は？」

僕は、今年還暦を迎えるのですが、実は音楽活動35周年というアニバーサリーがいっぱいにくる年なんです。いろんな方々からの応援をいただきながら、ちょっと特別な一年にしたいと思っています。

大きな花火をドンッと打ち上げるといよりは、自然と盛り上がり、今年一年は僕に暖かい風を送っていただき、36年目に突入したいと思っています。

あとは、コロナ禍で行けなかったところに、ぜひツアーでお邪魔したいですね。

子どもたちに夢を持ち続けてほしい

最後に、日立の子どもたちへメッセージをお願いします。

子どもの頃って、やりたいことや好きなことを言うことが恥ずかしいかもしれないけど、見



つけられていないわけではないと思います。できれば、恥ずかしがらずに勇気を出して、夢を言葉に出して言える環境を僕みたいな人間が作ってあげられたいと思っています。

将来の夢も、ユーチューバーとか公務員とか、何でも良いと思うんですけど、「僕はこういう風になりたい!」みたいな夢を、子どもたちみんなが持ち続けてキラキラしてほしいですね。

僕の場合は音楽でしたけど、子どもたちには興味のあることにチャレンジして、夢をつかんでほしいです。日立のみんな、頑張ってくださいね!

KATSUMIさんの活動はこちらから

公式サイト

Instagram